

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	地方道路交付金事業(明河原線)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
	部等名	建設部	課等名	土木課		1	8	2	3	11	6	
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり				包含する細々目							
施策	44 交通機関と道路の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等						
		事業期間	17	年度～	20		年度					

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	通過車両 (対象指標と数値は総括表参照)	自動車交通量(台/日)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			3174	3939		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	便利で安全に移動ができる。(成果指標数値は総括表参照)	改良率(%)	18目標	77.5	最終目標	100
			18実績	67.5	19目標	85
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・地方道路交付金事業は、基幹的な道路であり、国道、県道に接続する道路を改良する事業であり、国の基準に従い幅員、歩道設置等を決定している。 明河原線 L=2,000m W=7.5m H.17～20年度	18年度の実績 工事施工、工事説明会 L=1,080.8m W=7.5m 排水路工、舗装工	施工延長(m)	1080.8
	19年度計画 工事施工、工事説明会 L=410m W=7.5m 排水路工、舗装工	施工延長(m)	410	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	94,600	44,550
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	77,400	36,450
	事業費計(A)	172,000	81,000
人件費	正規職員所要時間	18年度 160	19年度 300
	臨時職員等所要時間	10	50
	人件費計(B)	583	1,127
	トータルコストA+B	172,583	82,127

特定財源内訳や補足事項	交付金補助率55%
-------------	-----------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	便利で安全に移動ができる。	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路)(%)	現状値	52.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	45
	市内の移動に不便を感じる市民の割合(交通機関)(%)	現状値	37.6	19実績		
		20実績		21実績		
22実績			23目標		35	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
本路線は飯田市都市圏東部の工業地帯に位置し、国道256号線のバイパスとして重要な路線である。沿線には天竜船下り弁天港、大型企業、工場等が密集し観光及び物流の拠点となっている。現道幅員では大型車どうしのすれ違いに支障を来しているため拡幅改良を行いアクセスの向上と交通の安全を図りたい。	近年長距離輸送トラックのターミナルが建設され、大型トラックの通行が増大し大型車どうしのすれ違いに支障を来している。	地域との約束事項であるとともに、市民や議会からも改良に対する要望が強く早期完成を願っている。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)	
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		緊急な整備が必要とされている。	廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		現在も通行に支障を来しており危険である。	他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		市道の改良である。	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)	

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 農閑期に、隣接する企業や観光施設等の関係機関や地元関係者と調整を図り、用排水路、舗装工事を実施する。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	用水路も関わるため農閑期に工事が限定され、観光及び物流の拠点となっており地元調整、関係機関との調整を密に行い工事を効率よく実施する。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	